

第4回 変革期をリードする新時代の茨城づくり  
調査特別委員会資料

1 県総合計画の政策・施策の進捗状況、数値目標の達成状況

( 政策企画部 )

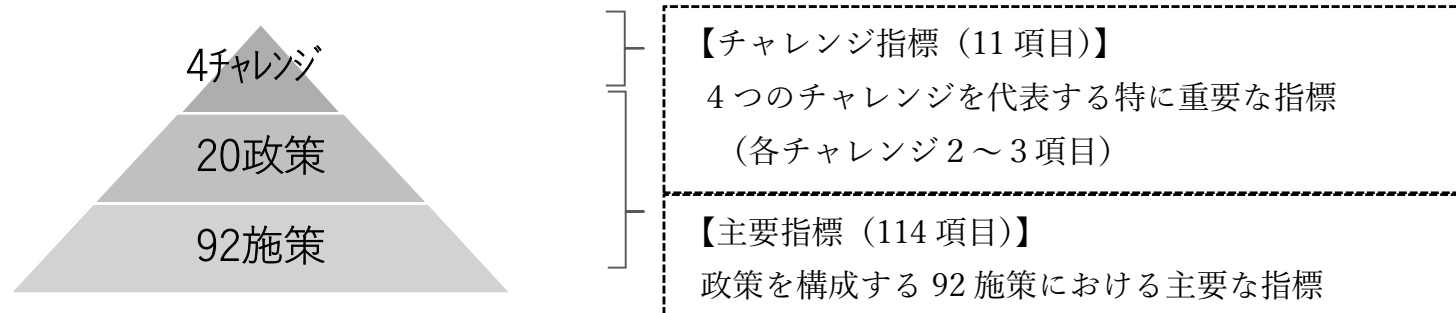
令和3年7月30日(金)

I 現状

1 政策体系と数値目標について

- 政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 125 項目の数値目標（チャレンジ指標 11 項目、主要指標 114 項目）を設定
- 政策・施策の成果等を毎年度分析・評価するとともに、施策の改善に活用
- 2019 年度の実績については、今年 1 月に総合計画審議会に報告を行い、県ホームページで公表

【政策体系及び数値目標】



2 評価の方法及び政策の進捗状況の区分方法

(1) 92 施策の評価方法

「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の4段階で評価

A	達成率 100%以上	C	達成率 50%～75%未満
B	達成率 75%～99%	D	達成率 50%未満

※ 一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価

(2) 20 政策の進捗状況の区分方法

政策を構成する施策評価結果を数値化し（A：4点、B：3点、C：2点、D：1点）、その平均値により、以下のとおり進捗状況を3段階に分類

結果	施策評価の平均値
順調である	4.0点 ～ 3.0点
成果をあげつつある	2.99点 ～ 2.0点
取組の強化が求められる	1.99点 ～ 1.0点

### 3 2019年度の政策・施策の進捗状況、数値目標の達成状況

資料1-2

#### (1) 20政策の進捗状況

P3:表1

2019年度における20政策の進捗状況について、最も高い評価区分である「順調である」が前年度より3政策増加して11政策となる一方、最も低い評価区分である「取組の強化が求められる」が、2018年度より2政策減少してゼロとなった。

(総括表)

区分	2018	2019	増減	備考
順調である	8	11	+3	☆新たに「順調である」とされた政策：5政策 ・2 新産業育成と中小企業等の成長 ↑ ・3 強い農林水産業 ↑↑
成果をあげつつある	10	9	▲1	・11 次世代を担う「人財」 ↑↑ ・14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城↑ ・17 世界に飛躍する茨城へ ↑
取組の強化が求められる	2	—	▲2	★進捗状況を1段階下げた政策：2政策 ・9 安心して暮らせる社会 ↓ ・16 魅力度No.1プロジェクト ↓

(20政策の進捗状況[2019年度]内訳)

区分	政策名
順調である (11政策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 質の高い雇用の創出</li> <li>・ 2 新産業育成と中小企業等の成長</li> <li>・ 3 強い農林水産業</li> <li>・ 7 健康長寿日本一</li> <li>・ 11 次世代を担う「人財」</li> <li>・ 12 魅力ある教育環境</li> <li>・ 14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城</li> <li>・ 15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会</li> <li>・ 17 世界に飛躍する茨城へ</li> <li>・ 19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功</li> <li>・ 20 活力を生むインフラと住み続けたいくなるまち</li> </ul>
成果をあげつつある (9政策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 多様な働き方</li> <li>・ 5 かけがえのない自然環境の保全・再生</li> <li>・ 6 県民の命を守る地域医療・福祉</li> <li>・ 8 障害のある人も暮らしやすい社会</li> <li>・ 9 安心して暮らせる社会</li> <li>・ 10 災害に強い県土</li> <li>・ 13 日本一、子供を産み育てやすい県</li> <li>・ 16 魅力度No.1プロジェクト</li> <li>・ 18 ビジット茨城 ～新観光創生～</li> </ul>
取組の強化が求められる (—政策)	

## (2) 92 施策の評価状況

2019 年度における 92 施策の評価状況について、2018 年度に比べ A 評価が 7 施策、B 評価が 1 施策増加

資料 1-2

P 4 : 表 2

チャレンジ	評価	2018	2019	増減	主な施策名
I 新しい 豊かさ	A	7	12	5	成長分野等の企業の誘致など
	B	1	—	▲1	—
	C	4	1	▲3	女性が輝く環境づくり
	D	9	5	▲4	水産業の成長産業化など
	評価保留	1	4	3	農業の成長産業化など
II 新しい 安心安全	A	11	10	▲1	医療・福祉人材確保対策など
	B	2	4	2	医師不足緊急対策など
	C	1	2	1	安心して安全な上下水道の整備
	D	9	9	—	医療提供体制・地域医療の充実など
	評価保留	3	1	▲2	高齢者の能力活用と就労支援
III 新しい 人財育成	A	10	12	2	「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進など
	B	—	1	1	時代の変化に対応した学校づくり
	C	2	3	1	正しいメディアとのつきあい方など
	D	11	3	▲8	新しい時代に求められる能力の育成など
	評価保留	2	6	4	青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくりなど
IV 新しい 夢・希望	A	9	10	1	魅力発信国内戦略など
	B	3	2	▲1	積極的なトップセールスなど
	C	2	1	▲1	空と海のゲートウェイ機能の強化
	D	5	5	—	魅力発信グローバル戦略など
	評価保留	—	1	1	成功に導く環境整備
計	A	37	44	7	
	B	6	7	1	
	C	9	7	▲2	
	D	34	22	▲12	
	評価保留	6	12	6	

(3) 主要指標（114項目）の評価状況





2019年度における主要指標の評価状況について、2018年度に比べA評価が9指標、B評価が3指標増加

チャレンジ	指標評価	2018	2019	増減	主な主要指標名
Ⅰ 新しい 豊かさ	A	10	13	3	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計) など
	B	1	1	—	意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合
	C	2	3	1	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数など
	D	12	7	▲5	水素ステーションの施設数(経年累計) など
	評価保留	4	5	1	先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数(経年累計) など
Ⅱ 新しい 安心安全	A	12	13	1	特定看護師数など
	B	3	4	1	医師数など
	C	2	2	—	民間企業における障害者雇用率など
	D	11	13	2	がん検診受診率など
	評価保留	5	1	▲4	高齢者有業率
Ⅲ 新しい 人財育成	A	9	14	5	国語の授業の理解度(中学生) など
	B	1	1	—	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合(公立小学校)
	C	5	2	▲3	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数(経年累計) など
	D	12	6	▲6	全国レベルのプログラミング・コンテスト(中高生向け)の入賞組数など
	評価保留	2	7	5	妊娠・出産について満足している者の割合など
Ⅳ 新しい 夢・希望	A	10	10	—	県の支援により成約した輸出商談件数など
	B	3	5	2	県産品の県内認知度など
	C	3	0	▲3	—
	D	5	6	1	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合など
	評価保留	1	1	—	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)
計	A	41	50	9	
	B	8	11	3	
	C	12	7	▲5	
	D	40	32	▲8	
	評価保留	12	14	2	

(4) チャレンジ指標の進捗状況

2019年度におけるチャレンジ指標の進捗状況については、「期待値より進捗」が3指標、「現状値より進捗」が3指標、「横ばい」が2指標、「現状値より悪化」が2指標、「評価保留」が3指標となった。

資料1-2  
P8:表3

区分	該当指標数・指標名 ※指標数の括弧内は2018年度
期待値より進捗 	3 (2) ①1人あたり県民所得(全国順位)、 ②雇用創出数(期間累計)、 ⑩農林水産物及び工業製品等の輸出額
現状値より進捗 	3 (1) ④医師数(※2018年度は評価保留)、 ⑦生徒の英語力(高校)、⑦生徒の英語力(中学)
横ばい 	2 (2) ⑥子どものチャレンジ意欲、 ⑧県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差
現状値より悪化 	2 (4) ③生産農業所得(販売農家1戸あたり)、 ⑩観光消費額
評価保留(指標が複数年度ごとに更新されるなど、数値の更新がない場合)	3 (4) ⑤健康寿命(男)、⑤健康寿命(女)、 ⑨企業経営者が考える成長期待度、
計	13

※四角囲みをした指標は、2018年度より進捗状況が改善。また、下線を付した指標は、進捗状況が悪化

※チャレンジ指標は11項目であるが、「⑤健康寿命」が男女別の数値となっており、

また、「⑦生徒の英語力」が中学・高校別の数値となっていることから、13項目により整理

(5) 進捗状況を踏まえた数値目標の見直し等について

① 数値目標(項目)の見直し

2020年度分の評価に向けて、事務事業を行うなかで更に明確化された施策目標・課題に対する取り組みをより適切に評価できる指標や、より成果(アウトカム)を重視する指標への見直しを実施

例) No.28 1人1日あたりのごみ排出量(見直し前) → 不法投棄発生件数(見直し後)

No.30 医師数(見直し前) → 最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数(見直し後)

② 数値目標の修正

直近の実績を踏まえ数値目標を4指標で上方修正

例) No.73-1 ICTを活用できる生徒の割合(県立高校)【当初:60%→変更後:100%】

No.96 県の支援により成約した輸出商談件数【当初:50件→変更後:100件】

資料1-2  
P9:表4

(6) 新型コロナウイルスの影響について

① 影響指標と影響の概要について

2020年3月までを期間とする87指標を精査したところ、新型コロナウイルス感染症の拡大による実績減などの影響が確認できたのは6指標

※ 影響指標：外出自粛要請による人の移動の制限や、イベント等の開催中止など、コロナの影響が明確に確認できた6指標

影響指標	影響の概要
No. 22 地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」の数（経年累計）	3月イベントの開催自粛に伴う実績減
No. 46 コミュニティ交通の利用者数	3月県民の外出意欲の減退に伴う実績減
No. 64 全国高等学校総合体育大会等での優勝数	3月選抜大会の中止
No. 86 県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	3月イベントの開催自粛に伴う実績減
No. 99 海外からの観光ツアー催行数	1月下旬以降の中国でのツアー販売禁止、他国でのツアーキャンセル増加に伴う実績減
No. 100 茨城空港の旅客数(再掲：No. 110)	2月上旬から中国便、3月中旬から台北便の全便運休に伴う実績減

② 2019年度分の進捗評価における考え方

新型コロナウイルス感染症の拡大による実績減などの影響が確認できた6指標について、通常の実績率と併せ、指標毎にコロナの影響がある期間を設定し、当該期間分の数値を期待値及び実績値から控除した達成率についても算出し、コロナの影響を控除した評価を実施

・通常の実績率の算出 = (実績 - 現状値) / (期待値 - 現状値)

→ コロナの影響を控除 = (【実績 - コロナ影響】 - 現状値) / (【期待値 - コロナ影響】 - 現状値)

例) No. 46 コミュニティ交通の利用者数【控除前】評価D [達成率 33%] → 【控除後】評価B [達成率 91%]

#### 4 2020年度の数値目標の公表状況

##### (1) 主要指標について

2021年6月末時点（速報値）で、「公表済」が92指標、「現時点未公表」16指標、コロナのため「未実施」が2指標、国体やオリンピック関連指標での「実績なし」が4指標となっている。

今後、評価等のとりまとめを行い総合計画審議会に報告していく予定。

公表済	現時点未公表	未実施	実績なし	計
92	16	2	4	114

資料1-2

P10：表5

##### (2) チャレンジ指標について

2021年6月末時点（速報値）で、「公表済」が7指標、「現時点未公表」3指標、コロナのため「未実施」が3指標となっている。

主要指標同様、進捗状況等のとりまとめを行い総合計画審議会に報告していく予定。

公表済	現時点未公表	未実施	計
7	3	3	13

資料1-2

P14：表6

#### II 課題 1 進捗評価の低い数値目標について

##### (1) 主要指標の評価状況

個別の指標において、最も評価が低い区分であるD評価については、2019年度は前年度に比べ8指標減少したが、依然として32指標(28.1%)ある。

年度	A	B	C	D	評価保留	計
19	50 (43.9%)	11 (9.6%)	7 (6.1%)	32 (28.1%)	14 (12.3%)	114 (100%)
18	41 (36.3%)	8 (7.1%)	12 (10.6%)	40 (35.4%)	12 (10.6%)	113 (100%)

※ 2020年度の評価状況については、今後とりまとめ予定

※ 主要指標の計については、2018年度実績の達成状況のチェックにより今後の方向性を確認した際、2019年度に向けて主要指標を1項目増としたため、異なる。



(2) チャレンジ指標の進捗状況

個別の指標において、最も進捗が悪い区分である「現状値より悪化」については、2019年度は前年度に比べ2指標減少したが、依然として2指標(15.4%)ある。

年度	期待値より 進捗	現状値より 進捗	横ばい	現状値より 悪化	評価 保留	計
19	3 (23.1%)	3 (23.1%)	2 (15.4%)	2 (15.4%)	3 (23.1%)	13 (100%)
18	2 (15.4%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	4 (30.8%)	13 (100%)

※ 2020年度の評価状況については、今後とりまとめ予定

2 新型コロナウイルスの影響について

(1) 主要指標について

2020年度実績においても、外出・移動の自粛や催物(イベント等)の制限等により、No.99海外からの観光ツアー催行数やNo.101観光地点等入込客数などの指標で、新型コロナウイルスの影響による実績減等が確認されている。

(2) チャレンジ指標について

主要指標同様に、⑩観光消費額などの指標で、新型コロナウイルスの影響による実績減等が確認されている。

Ⅲ 今後の対応

1 進捗評価の低い数値目標について

PDC Aサイクルについて、計画期間や年単位にとらわれず、スピード感を持ち、適宜、施策の効果検証を行い、事務事業や制度の改善に向けた具体的な見直しを行う。

2 新型コロナウイルスの影響について

価値観や社会構造の変化によるニーズを的確に捉えた新たな施策を展開するなど、目標の達成に向けて取り組みを進めていく。

## 第4回 変革期をリードする新時代の茨城づくり

### 調査特別委員会資料 【参考資料】

#### 1 県総合計画の政策・施策の進捗状況、数値目標の達成状況

( 政策企画部 )


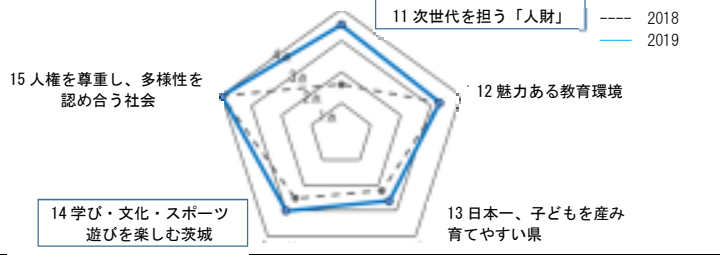



令和3年7月30日 (金)

## 参考資料目次

1.	資料 1-1	P 3	I 現状	3 (1)	20 政策の進捗状況	3
2.	〃	P 4	I 現状	3 (2)	92 施策の評価状況	4
3.	〃	P 6	I 現状	3 (4)	チャレンジ指標の進捗状況	8
4.	〃	P 6	I 現状	3 (5)	進捗状況を踏まえた数値目標の見直し等について	9
5.	〃	P 8	I 現状	4 (1)	主要指標について	10
6.	〃	P 8	I 現状	4 (2)	チャレンジ指標について	14

<資料 1-1 P 3 I 現状 3 (1) 20 政策の評価状況>

【表 1】20 政策の進捗状況

		区分	2018	2019	増減	
新しい豊かさ		「順調である」	1	3	+ 2	
		「成果をあげつつある」	3	2	▲ 1	
		「取組の強化が求められる」	1	—	▲ 1	
新しい安心安全		「順調である」	2	1	▲ 1	
		「成果をあげつつある」	3	4	+ 1	
		「取組の強化が求められる」	—	—		
新しい人財育成		「順調である」	2	4	+ 2	
		「成果をあげつつある」	2	1	▲ 1	
		「取組の強化が求められる」	1	—	▲ 1	
新しい夢・希望		「順調である」	3	3	—	
		「成果をあげつつある」	2	2	—	
		「取組の強化が求められる」	—	—	—	

※四角囲みをした政策は、2018 年度より進捗状況が改善。また、下線を付した政策は、2018 年度より進捗状況が悪化。



【表2】92施策の評価状況

I. 新しい豊かさ	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)				参考 2018 指標評価	目標値 2021		
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価				
<b>1 質の高い雇用の創出</b>																
(1) 成長分野等の企業の誘致	順調である	4.0	A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計)	人	256 (2016)	—	728	—	512	184%	A	A	1,024 (2018~21累計)	
				2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計)	件	28 (2016)	—	89	—	56	218%	A	A	112 (2018~21累計)	
				3	県の支援により進出した外資系企業数(経年累計)	件	4	—	9	—	14	50%	C	C	22	
(2) 工業団地への企業立地の加速化	順調である	3.7	A	4	工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計)	件	50	4	132	3	100	164%	A	A	200 (2018~21累計)	
(3) 産業を支える人材の育成・確保				A	5	基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計)	人	530 (2018)	10	1,033	10	989	110%	A	指標変更	2,009
<b>2 新産業育成と中小企業等の成長</b>																
(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成	順調である	4.0	A	6	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)	社	4 (2018)	—	9	—	6	250%	A	指標変更	10	
				7	先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数(経年累計)	社	15 (2018)	—	2019は準備期間として設定		—	—	—	—	指標変更	45
(2) 共存共栄できる新しい産業集積づくり	順調である	2.3	A	8	産学官連携による新製品等開発件数(経年累計)	件	66	—	87	—	86	105%	A	A	106	
(3) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成				A	9	意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合	%	—	—	33	—	34	97%	B	指標変更	50
				10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数(経年累計)	件	—	—	3	—	2	150%	A	指標変更	18	
<b>3 強い農林水産業</b>																
(1) 農業の成長産業化	順調である	3.0	—	11	販売金額1億円以上の農業経営体数	経営体	255 (2015)	7	— 2021.3月頃公表		330	—	—	指標変更	350 (2020)	
(2) 未来の農業のエンジンとなる担い手づくり				12	法人化している農業経営体率	%	5.1 (2015)	40	— 2021.3月頃公表		9.9	—	—	—	指標変更	11.7 (2020)
(3) 林業の成長産業化				13	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	—	—	— 2019は準備期間として設定		—	—	—	—	指標変更	2
(4) 水産業の成長産業化				14	沿岸漁業における法人の割合	%	3.2 (2018)	—	3.5	—	4.3	27%	D	指標変更	8.9	
(5) 県食材の国内外への販路拡大				15-1	漁労収入1億円以上の沿岸漁業経営体数	経営体	5 (2018)	—	6	—	9	25%	D	指標変更	12	
(6) 美しく元気な農山漁村の創生				15-2	県の支援により成約した農産物の市場外取引商談件数	件	137 (2018)	—	325	—	300	115%	A	指標変更	860	
				16	野生鳥獣による農作物被害金額	百万円	580 (2016)	43	469 (2018)	42	528 (2018)	214%	A	D	450以下	
<b>4 多様な働き方</b>																
(1) 自分らしく働くワーク・ライフ・バランスの実現	成果をあげつつある	2.0	D	18	県内中小企業における年次有給休暇取得率	%	53.97 (2016)	9	55.53 (2018)	9	59.31 (2018)	29%	D	D	61.00以上	
(2) 女性が輝く環境づくり				19	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数	時間	12.8	45	11.4	38	10.0	50%	C	D	9.3以下	
(3) UIJターンで大好きな茨城へ				20	政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合)	%	30.7	37 (2016)	32.5	— 2020.12公表	33.7	60%	C	D	35.4	
(4) 移住・二地域居住の推進~茨城へ新しい人の流れを~				21	大学卒業者の県内企業等への就職率	%	30.7 (2016)	—	29.2 (2018)	—	32.0 (2018)	0%	D	C	32.9	
(5) 安心して就労できる環境づくり				22	地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計)	人	10,770	—	18,762 【18,473】	—	18,770 【18,437】	99% 【100%】	B 【A】	A	26,770	
				23	雇用者の正規雇用率	%	61.5	28	— 次回公表は2022実績		62.1	—	—	—	62.7	
<b>5 かけがえのない自然環境の保全・再生</b>																
(1) 湖沼の水質浄化~泳げる霞ヶ浦を目指して~	成果をあげつつある	2.8	A	24	霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値)	mg/L	7.3 (2018)	—	6.9	未公表	7.2	400%	A	—	7.0 (2020)	
(2) 身近な自然環境の保全				25	霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数	件/年	1,219	—	1,210	—	1,531	0%	D	D	1,531	
(3) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策				26	大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率	%	94.4	—	100	—	100	100%	A	D	100%	
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり				27	本県の二酸化炭素排出量の削減	%	家庭: 3,812 業務: 4,421 運輸: 6,620 産業: 30,850 (2013,千t-CO2)		家庭: ▲10.5 業務: ▲13.0 運輸: ▲7.0 産業: ▲12.0 (2017)		家庭: ▲9.2 業務: ▲9.4 運輸: ▲6.6 産業: ▲2.1 (2017)		232%	A	A	家庭: ▲18.4 業務: ▲19.2 運輸: ▲13.2 産業: ▲4.24
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現				28	1人1日あたりのごみ排出量	g/人/日	983 (2016)	36	990 (2018)	41	951 (2018)	0%	D	D	905以下	
				29	水素ステーションの施設数(経年累計)	施設	2	15	2	16	3	0%	D	A	4	

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)






チャレンジI「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジI)						主要指標評価結果(チャレンジI)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」 : 3	12	0	1	5	4	22	13	1	3	7	5	29
・「成果をあげつつある」 : 2	(54.6%)	(0%)	(4.5%)	(22.7%)	(18.2%)	(100%)	(44.8%)	(3.4%)	(10.3%)	(24.1%)	(17.2%)	(100%)
・「取組の強化が求められる」 : 1												

II. 新しい安心安全	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)				参考 2018 指標評価	目標値 2021	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価			2018 指標評価
<b>6 県民の命を守る地域医療・福祉</b>															
(1) 医師不足緊急対策	 成果をあげつつある 2.0 2018平均値 2.0	B	30	医師数	人	5,513 (2016)	46 (10万人あたり)	5,682 (2018)	46	5,729 (2018)	78%	B	—	6,160	
(2) 医療・福祉人材確保対策		A	31	特定看護師数	人	35	11 (10万人あたり)	63 (2018)	7 (10万人あたり)	60 (2018)	112%	A	指標変更	140	
(3) 医療提供体制・地域保健の充実		D	33	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	42.7 (2016)	40	43.2 (2018)	41	39.5 (2018)	0%	D	D	全国平均以下	
(4) がん対策		D	34	がん検診受診率	%	44.9 (2016)	22	46.4 (2019)	30	50.0 (2019)	29%	D	—	50.0	
(5) 精神保健対策・自殺対策		D	35	自殺者数(人口10万人あたり)	人	17.1 (2016)	22	17.0 (2018)	13	16.7 (2018)	25%	D	D	16.2以下 (2020)	
<b>7 健康長寿日本一</b>															
(1) 在宅医療・介護の支援	 順調である 3.3 2018平均値 3.3	A	36	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	360 (2015)	36 (10万人あたり)	401	—	396	114%	A	A	414 (2020)	
(2) 地域包括ケアシステムの構築		A	37	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	74.6 (2018)	—	90.0	—	83.1	181%	A	指標変更	100	
(3) 認知症対策の強化		A	38	認知症サポーター養成人数(経年累計)	人	201,567	37 (総人口に占める割合)	267,261	33	256,000	121%	A	A	284,300 (2020)	
(4) 高齢者の能力活用と就労支援		—	39	高齢者有業率	%	38.2	30	—	次回公表は2022実績	38.4	—	—	—	38.5	
(5) 人生百年時代を見据えた健康づくり		D	40	シルバーリハビリ体操指導士養成数(経年累計)	人	8,312	—	9,236	—	10,281	47%	D	C	11,000 (2020)	
		41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性:25.3 女性:9.7 (2015)	男性:41 女性:43	男性:25.8 女性:10.3 (2017)	男性:42 女性:43	男性:24.3 女性:9.3 (2017)	男性:0% 女性:0%	D	D	男性:22.8 女性:8.7		
<b>8 障害のある人も暮らしやすい社会</b>															
(1) 特別支援教育等の充実	 成果をあげつつある 2.7 2018平均値 2.0	A	42	障害児に対する個別的教育支援計画の作成率(公立幼稚園)	%	66.7	32	85.1	—	73.9	256%	A	A	81.1	
(2) 障害者の自立と社会参加の促進		D	43	精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数	人	3,905	—	3,758	—	3,445	32%	D	D	3,177 (2020)	
(3) 障害者の就労機会の拡大		B	44	就労継続支援B型事業所における月額平均工賃	円	13,198	45 (2016)	14,338	—	14,340	100%	A	—	15,480	
		D	45	民間企業における障害者雇用率	%	1.97	32	2.14	31	2.23	65%	C	D	2.30	
<b>9 安心して暮らせる社会</b>															
(1) 地域公共交通の維持確保	 成果をあげつつある 2.7 2018平均値 3.1	B	46	コミュニティ交通の利用者数	万人	308 【282】 (2016)	—	312 【292】	—	320 【293】	33% 【91%】	D 【B】	A	323	
(2) 治安対策の強化		D	47	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	42.7	—	40.7	—	46.0	0%	D	A	50.0以上	
(3) 交通安全対策の推進		A	48	交通事故死者数	人	143	38	107	39	120以下	157%	A	B	120以下	
(4) 消費生活と食の安全確保		A	49	食に対する不安を感じない県民の割合	%	39.9	—	50.8	—	45	214%	A	A	50.0以上	
		D	50	市町村消費生活センター等における消費生活相談の受付割合	%	79.4	9	78.9	— 2020.11公表	83.4	0%	D	C	85.0	
(5) 地域の力を高めるコミュニティづくり		D	51	NPO法人認証件数(経年累計)	件	838	46 (10万人あたり)	845	45	910	10%	D	D	983	
(6) 犬猫殺処分ゼロの実現		A	52	犬猫の殺処分数	頭	545	—	0	—	0	100%	A	A	0	
(7) 安心して安全な上下水道の整備	C	53	水道普及率	%	94.4 (2016)	36	94.7 (2018)	36	97.2 (2018)	11%	D	D	100.0		
	D	54	汚水処理人口普及率	%	84.0	31	85.6	—	85.7	94%	B	B	87.4		
<b>10 災害に強い県土</b>															
(1) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	 成果をあげつつある 2.5 2018平均値 2.3	D	55	自主防災組織の活動カバー率	%	80.8	34	83.4	34	88.7	33%	D	D	90.0	
			56	消防団員数の充足率	%	91.6	31	88.5	42	93.7	0%	D	D	94.0	
(2) 災害に備えた体制づくり	A	57	市町村のBCP策定率	%	56.8	27	100	1	86.4	146%	A	A	100.0		
(3) 危機に強いライフラインの整備	C	58	公共施設等の個別施設計画(長寿命化計画)策定割合	%	53.8	—	73.1	—	84.6	63%	C	D	100.0		
(4) 治山治水対策の強化	A	59	河川改修率	%	57.6	—	57.9	—	57.9	100%	A	A	58.2		
		60	土砂災害防止施設の整備率	%	24.1	—	24.4	—	24.3	150%	A	A	24.5		
(5) 原子力安全対策の徹底	D	61	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ(法令報告に該当するもの)	件	1 (2018)	—	1	—	0	0%	D	D	0		
(6) 危機管理体制の充実	B	62	市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率	%	61.4	—	77.3	—	81.8	78%	B	B	100.0		

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示  
 ※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

チャレンジII「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 1 ・「成果をあげつつある」 : 4 ・「取組の強化が求められる」 : —	施策評価結果(チャレンジII)						主要指標評価結果(チャレンジII)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	10	4	2	9	1	26	13	4	2	13	1	33
(38.5%)	(15.4%)	(7.7%)	(34.6%)	(3.8%)	(100%)	(39.4%)	(12.1%)	(6.1%)	(39.4%)	(3.0%)	(100%)	



III. 新しい人財育成	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)					参考 2018 指標評価	目標値 2021
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価	2018 指標評価		
<b>11 次世代を担う「人財」</b>															
(1) 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進	 順調である 3.5 2018平均値 1.6	A	63	国語の授業の理解度（中学生）	%	78.4	9	80.6	—	80	138%	A	—	81.4	
(2) 新しい時代に求められる能力の育成			D	64	全国高等学校総合体育大会等での優勝数	種目	3 (2018)	24	5 【4】	24 【23】	5 【3】	100% 【133%】	A 【A】	指標変更	6
(3) キャリア教育による将来の目標づくり		A	65	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	組	2	—	1	—	4	0%	D	D	5	
(4) 青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくり			66	地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合	%	5.5 (2018)	—	— 次回公表は2020実績		—	—	—	—	指標変更	50
(5) 就学前教育・家庭教育の推進		—	67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	35.4	—	30	118%	A	—	100	
(6) 放課後の子どもの活動支援		A	68	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合	%	69.0 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		72.1	—	—	指標変更	78.3	
(7) 地域力を高める人財育成		A	69	訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数	市町村	12 (2018)	—	17	—	17	100%	A	指標変更	21	
	A	70	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,018	104%	A	指標変更	1,099		
	A	71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	3,777	—	3,563	—	4,540	0%	D	C	5,280		
	A	72	若者活動応援サイトへの会員登録者数（経年累計）	人	517 (過去3年の累計)	—	762	—	640	199%	A	B	760		
<b>12 魅力ある教育環境</b>															
(1) ICT教育先進県の実現	 順調である 3.3 2018平均値 3.3	A	73-1	ICTを活用できる生徒の割合（県立高校）	%	38.6 (2018)	—	76.1	—	40	2679%	A	指標変更	60.0	
(2) 正しいメディアとのつきあい方			73-2	情報処理技術者試験の高校生合格者数（期間累計）	人	16 (2018)	—	19	—	25	33%	D	指標変更	43	
(3) 時代の変化に対応した学校づくり		C	74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	48.9 (2016)	—	56.8	—	73.6	32%	D	—	90.0	
(4) 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進		B	75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率	%	97.8	—	100	—	100	100%	A	D	100.0	
	B	76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）	%	77.0	17	79.5	—	79.6	96%	B	A	82.2		
	A	77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	校	—	—	1	—	0	100%	A	指標変更	2		
<b>13 日本一、子どもを産み育てやすい県</b>															
(1) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり	 成果をあげつつある 2.6 2018平均値 2.2	C	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	82.1	28 (2016)	— 2021.6月頃公表		83	—	—	A	84	
(2) 安心して子どもを育てられる社会づくり			79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計）	組	1,930	—	2,230	—	2,500	53%	C	D	2,450	
(3) 待機児童ゼロへの挑戦		A	80	放課後児童クラブの実施箇所数（再掲）	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,018	104%	A	指標変更	1,099	
(4) 児童虐待対策の推進		C	81	保育所等の待機児童数	人	386	36	193	34	0	50%	C	D	0	
(5) 誰もが教育を受けることができる社会づくり		A	82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	12	—	24	—	24	100%	A	A	44	
(6) 困難を抱える子どもへの支援		—	83	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合（再掲）	%	69.0 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		72.1	—	—	指標変更	78.3	
	D	84	母子家庭等就業・自立支援センターの職業紹介による就職件数	件/年	17	—	19	—	40	9%	D	D	40 (2019)		
<b>14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城</b>															
(1) 生涯にわたる学びのすゝめ	 順調である 3.0 2018平均値 2.5	D	85	県内公立図書館の入館者数	千人	8,477 (2018)	—	8,061	—	8,522	0%	D	指標変更	8,612	
(2) 心豊かにする文化・芸術			A	86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	1,051 【963】 (2018)	—	1,007 【971】	—	1,056 【968】	0% 【160%】	D 【A】	指標変更	1,067
(3) 「する・見る・支える」スポーツの支援		—	87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	34.7 (2016)	—	— 次回公表は2020実績		53.6	—	—	A	60.7	
(4) 遊びある楽しい生活スタイル		A	88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.74 (2018)	172%	A	A	10.00	
<b>15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会</b>															
(1) 誰もが能力を發揮できる社会	 順調である 4.0 2018平均値 4.0	A	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計）	人	520	—	843	—	600	404%	A	A	800	
(2) ダイバーシティ社会へ向けて			—	90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	90.6 (2016)	—	— 次回公表は2020実績		93.0	—	—	—	95.0
(3) 一人ひとりが尊重される社会づくり		—	91	いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数	件	958 (2018)	—	— 2020.10月頃公表		868	—	—	指標変更	689	
(4) いじめを生まない社会づくり		—													

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施（【】がコロナ影響控除数値）

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジⅢ)						主要指標評価結果(チャレンジⅢ)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	・「順調である」 : 4 ・「成果をあげつつある」 : 1 ・「取組の強化が求められる」 : 1	12 (48.0%)	1 (4.0%)	3 (12.0%)	3 (12.0%)	6 (24.0%)	25 (100%)	14 (46.7%)	1 (3.3%)	2 (6.7%)	6 (20.0%)	7 (23.3%)

IV. 新しい夢・希望	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)				参考 2018 指標評価	目標値 2021	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2019 指標評価			
<b>16 魅力度No.1プロジェクト</b>															
(1) 魅力発信国内戦略	成果をあげつつある	2.3 2018平均値 3.0	A	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	71	—	123	—	98	193%	A	A	140
(2) 魅力発信グローバル戦略			D	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	230,690	35	217,410	38	291,000	0%	D	A	389,900
(3) 積極的なトップセールス			B	94	県産品の県内認知度	%	—	—	41.2	—	43	96%	B	B	50
(4) 県民総「茨城大好き！」計画			D	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	83.3	—	77.5	—	86.0	0%	D	D	90.0
<b>17 世界に飛躍する茨城へ</b>															
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI	順調である	3.0 2018平均値 2.3	A	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	38	—	94	—	50	467%	A	A	50
(2) 活発なグローバル交流			D	97	県内における国際会議の開催件数	件/年	53 (2016)	12	50 (2018)	12	87 (2018)	0%	D	指標変更	120 (2020)
(3) 茨城シリコンバレー構想			A	98	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)(再掲)	社	4 (2018)	—	9	—	6	250%	A	指標変更	10
<b>18 ビジット茨城 ～新観光創生～</b>															
(1) 旺盛なインバウンドの取込み	成果をあげつつある	2.0 2018平均値 2.0	A	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	3,442 【2,868】 (2018)	—	3,360 【3,259】	—	3,600 【3,000】	0% 【296%】	D 【A】	A	5,000
(2) 新たな観光資源の発掘			D	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	6,181 (2016)	17位/ 40都道府県	776 【698】	—	848 【707】	57% 【94%】	C 【B】	B	944
(3) 新茨城リゾート構想			D	102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	534 (2016)	22位/ 41都道府県	491	—	746	0%	D	D	876
<b>19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功</b>															
(1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興	順調である	4.0 2018平均値 3.4	A	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	23	23	1	1	1	100%	A	C	1 (2019)
(2) 県民総参加の機運醸成			A	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	6,723	—	延べ 5,200 (2019)	129%	A	A	延べ 5,200 (2019)
(3) 成功に導く環境整備			—	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	—	—	—	—	—	B	2,200
(4) 大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信			A	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	414	—	100 (2019)	414%	A	A	100 (2019)
(5) スポーツを活用した地域振興			A	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	9	6	16	4	13	175%	A	A	15
<b>20 活力を生むインフラと住み続けたいまち</b>															
(1) 未来の交通ネットワークの整備	順調である	3.3 2018平均値 3.0	A	108	県管理道路の改良率	%	75.7 (2016)	20	76.8 (2018)	22	75.9 (2018)	550%	A	A	76.3
(2) 空と海のゲートウェイ機能の強化			C	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千ト	94,350	—	95,770	—	98,800	32%	D	D	103,200
(3) 人にやさしいまちづくり			B	111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	2	—	12	—	15	77%	B	C	24
			B	112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	63.1	—	67.7	—	69.2	75%	B	A	74.3
(4) 魅力あるまちづくり	A	113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m <sup>2</sup> /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.74 (2018)	172%	A	A	10.00		

※1 2019年度の実績数値は、概ね2020年8月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

チャレンジIV「政策」の進捗状況 ・「順調である」 : 3 ・「成果をあげつつある」 : 2 ・「取組の強化が求められる」 : 1	施策評価結果(チャレンジIV)						主要指標評価結果(チャレンジIV)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	10	2	1	5	1	19	10	5	0	6	1	22
(52.6%)	(10.5%)	(5.3%)	(26.3%)	(5.3%)	(100%)	(45.5%)	(22.7%)	(0.0%)	(27.3%)	(4.5%)	(100%)	

「政策」の進捗状況(合計) ・「順調である」 : 11 ・「成果をあげつつある」 : 9 ・「取組の強化が求められる」 : 1	施策評価結果(合計)						主要指標評価結果(合計)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
	44	7	7	22	12	92	50	11	7	32	14	114
(47.8%)	(7.6%)	(7.6%)	(23.9%)	(13.0%)	(100.0%)	(43.9%)	(9.6%)	(6.1%)	(28.1%)	(12.3%)	(100%)	

令和2年度第1回茨城県総合計画審議会資料



<資料1-1 P6 I 現状 3 (4) チャレンジ指標の進捗状況>

【表3】チャレンジ指標の進捗状況

4つのチャレンジ	No	指標名	単位	現状値 2017		2018	進捗 状況	2019	進捗 状況	備考	目標値 2021
I 新しい働き	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	10 [2015] <small>※平成27年度 県民経済計算公表時</small>	期待値	9位以内	➡	9位以内	➡	・1人あたり県民所得は国民所得を上回る増加率 ※1人あたり県民所得[2015]3,104千円→[2017]3,306千円(+6.5%) " 国民所得[2015]3,069千円→[2017]3,164千円(+3.1%)	8位以内
					実績	10[2016]	➡	7位[2017]	➡		
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,138	期待値	3,000[2017]	➡	2,200[2018]	➡	・看護職員の就業者数の増及び新規就農者数の増 〔「雇用創出数」の構成内訳〕 ・企業誘致による雇用者増加数・起業による雇用増加数 ・新規就農者・本社機能の移転等による雇用増加数 ・就業看護職員数	8,800 (2018～21累計)
				実績	2,138[2017]	➡	2,467[2018]	➡			
	③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	373 [2016] (9)	期待値	319[2017]	➡	355[2018]	➡	・農業産出額の減少による生産農業所得の減(全国的に同様の傾向) ※生産農業所得(総額):2,022億円[2016]→1,685億円[2018](△337億円)	500
				実績	374[2017] (11)	➡	330[2018] (11)	➡			
II 新しい安心安全	④	医師数	人	5,513 [2016] (46)	期待値	-	➡	5,729[2018]	➡	・寄附講座の設置、地域枠等の修学資金貸与制度等による医師数の増	6,160
					実績	-	➡	5,682[2018]	➡		
	⑤	健康寿命	年	男:72.50 [2016] (9) 女:75.52 [2016] (8)	期待値	-	➡	-	➡	・3年毎公表(次回、2021年3月頃公表予定)	72.92
					実績	-	➡	-	➡		76.22
III 新しい人材育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.8 (11)	期待値	79.5	➡	80.2	➡	・課題解決型授業への積極的改善により全国順位が上昇 ※学習指導要領の改訂(「主体的・対話的で深い学び」の重視等)に伴い、質問文で課題解決に向けた姿勢が強調 (「課題に対して」→「課題解決に向け」)されたため、全国的に数値は減少傾向 全国平均 [2017]74.9%→[2019]74.8%(△0.1ポイント)	81.4
					実績	77.2(12)	➡	78.6(9)	➡		
	⑦	生徒の英語力  英検取得(中学:3級, 高校:準2級)又は 相当程度を有すると 思われる生徒の割合	%	中学:43.3 (9) 高校:36.2 (35)	期待値	48.6	➡	54	➡	・英語アセスメントテストの実施により、教員の英語指導力と生徒自身の学習姿勢が改善 ※英検3級取得生徒 [2017]25.9%→[2019]29.4%(+3.5ポイント) " 相当程度を有する生徒 [2017]17.4%→[2019]19.0%(+1.6ポイント)	60.4
				実績	41.6(17)	➡	48.3(7)	➡			
					期待値	43.1	➡	50	➡	・教員の英語力の向上及び英語ダイアログ大会等による生徒の実践的な英語力の向上 ※本県英語教員の英検準一級等取得割合[2017]62.0%→[2019]77.0% (全国平均) [2017]65.0%→[2019]72.0%	58.0
				実績	41.1(18)	➡	44.6(18)	➡			
	⑧	県民が希望する子どもの数と 実際の子どもの数の差	人	0.45	期待値	現状より改善	➡	現状より改善	➡	・子育てに係る経済面での不安等から、希望する数・実際の数ともに減少 ※県民が希望する子どもの数 [2017]2.49人→[2019]2.47人(△0.02) " 実際の子どもの数(予定含む)[2017]2.04人→[2019]2.01人(△0.03)	現状より改善
					実績	0.46	➡	0.46	➡		
IV 新しい観光-産業	⑨	企業経営者が考える成長期待 度	%	-	期待値		➡	最高値の更新	➡	・初回調査(2020年3月) ※県内企業経営者を対象にアンケート調査を実施	最高値の更新
					実績		➡	70.1	➡		
	⑩	観光消費額	億円	2,628 (15/35 都道府県)	期待値	3,215	➡	3,457	➡	・台風19号の影響により10-12月期の観光消費額が大幅に減少(対前年同期△268億円) ※観光入込客数(延べ人数)[2018]6,184万人→[2019]6,443万人(+259万人)	3,950
				実績	2,555 ※順位は未公表	➡	2,487 ※順位は未公表	➡			
	⑪	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	78	期待値	85	➡	91	➡	・米の輸出増により農産物が前年比118%。水産物はサバの漁獲量減等により前年比80%に減少。 加工食品は韓国での不買運動等により前年比77%に減少も、工業製品等は前年比201%に増加。 ※農産物輸出額 [2018]5.5億円→[2019]6.4億円(+0.9億円) 水産物輸出額 [2018]67億円→[2019]54億円(△13億円) " 工業製品輸出額 [2018]16.3億円→[2019]12.7億円(△3.6億円) 工業製品等輸出額[2018]11.2億円→[2019]22.5億円(+11.3億円)	104
				実績	100	➡	95.6	➡			

(凡例) 進捗状況について : 期待値より進捗 : 現状値より進捗 : 横ばい : 現状値より悪化

＜資料1-1 P6 I 現状 3(5) 進捗状況を踏まえた数値目標＞

【表4】数値目標（項目）の見直し

○チャレンジ指標

指標名 (計画策定時)	指標名 (見直し後)	指標が示すもの (見直し後)	単位	現状値		目標値		
				2019	全国順位等	2021 (2027)	設定の考え方	
チャレンジII「新しい安心安全」								
④ 医師数	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	県が重点的に医師を確保すべき医療機関・診療科における必要医師数	人	2.2 (2020)	-	7.5 (2022)	医師の確保における県の役割は、政策医療を担う中核的な医療機関の機能を維持することであり、特に、地域住民の安心・安全の確保が困難となるような、重要度・緊急度が極めて高い案件については、県として明確な目標を設定し、医師の確保に取り組む必要がある。 なお、目標とする医師数の確保により、地域医療が守られ、地域住民の安心・安全を確保が見込まれる。	

○主要指標

政策・施策名	No	指標名 (計画策定時)	指標名 (見直し後)	指標が示すもの (見直し後)	単位	現状値		目標値	
						2019	全国順位等	2021	設定の考え方
<b>5 かけがえのない自然環境の保全・再生</b>									
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり	28	1人1日あたりのごみ排出量	不法投棄発生件数	県内で発生した産業廃棄物の不法投棄事案として認知した件数	件	120	-	80以下	不法投棄事案の発生を2019年度(120件)比で2/3に抑制することを目指し、目標値を設定(過去10年間の最少水準)
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現	29	水素ステーションの施設数(経年累計)	電気自動車等充電インフラの整備数(経年累計)	茨城県内における充電スタンドの整備数(国補助金交付ベース)+(公共施設整備)	基	1,041	-	1,054	国補助金交付ベースの充電スタンド数について、過去3年間の平均増加数(2基/年 急速のみ)を倍増させるとともに、公共施設において5基の整備を図ることとして、目標値を設定
<b>6 県民の命を守る地域医療・福祉</b>									
(1) 医師不足緊急対策	30	医師数	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	県が重点的に医師を確保すべき医療機関・診療科における必要医師数	人	2.2 (2020)	-	7.5 (2022)	医師の確保における県の役割は、政策医療を担う中核的な医療機関の機能を維持することであり、特に、地域住民の安心・安全の確保が困難となるような、重要度・緊急度が極めて高い案件については、県として明確な目標を設定し、医師の確保に取り組む必要がある。 なお、目標とする医師数の確保により、地域医療が守られ、地域住民の安心・安全を確保が見込まれる。
(2) 医療・福祉人材確保対策	32	介護職員数	介護職員数 ※目標値の上方修正	県内の介護保険サービスに従事する介護職員数(調査年における時点調査)	人	38,533 (2018)	-	当初 43,122 変更後 47,434	介護職員の不足状況に係る調査において、現状より1割増の職員数確保により不足感を解消できるとの結果から、当初の目標値から1割増の目標値を設定
<b>8 障害のある人も暮らしやすい社会</b>									
(1) 特別支援教育等の充実	42	障害児に対する個別的教育支援計画の作成率(公立幼稚園)	障害児に対する個別的教育支援計画等の作成率(幼児教育・保育施設)	幼児教育・保育施設における障害児に対する教育・保育の充実	%	63.2 (2020)	-	68.5	2027年度の目標値を100%に設定し、2020年度の現状値を基準として、2021年度の目標値を設定(5.3ポイント/年の増)。
<b>9 安心して暮らせる社会</b>									
(4) 消費生活と食の安全確保	50	市町村消費生活センター等における消費生活相談の受付割合	市町村消費生活センター等における相談窓口対応日数が週4日以上 の市町村数	住民に身近な市町村における、消費者からの相談体制の整備状況	市町村	39	-	44	消費生活相談窓口対応日数について、県内全市町村で、消費者安全法のセンター設置基準である週4日以上とすることを目指し、目標値を設定
<b>11 次世代を担う「人財」</b>									
(7) 地域力を高める人材育成	72	若者活動応援サイトへの会員登録者数(経年累計)	IBARAKI「J」ーム・バス事業への応募者数	課題解決型学習等とおして、自分の夢や地域課題を発見し、その解決に向け、具体的に企画立案、実践活動を目指し応募した企画数	件	104 (2020)	-	130	直近の実績値(2020年 104件)の状況を踏まえ、2027年度までに288件を目指し、目標値を設定
<b>12 魅力ある教育環境</b>									
(1) ICT教育先進県の実現	73-1	ICTを活用できる生徒の割合(県立高校)	ICTを活用できる生徒の割合(県立高校) ※目標値の上方修正	高校生対象の調査で、ICTを活用して、生活や社会の問題を解決する活動等で、情報の収集、整理・分析、発表という項目で「できる」と回答した生徒数の割合(県立高校)(年度)	%	76.1	-	当初 60 変更後 100	2021年度までに100%を目指し、目標値を設定
(4) 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進	77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数 ※目標値の上方修正	魅力ある教育環境の政策に則し、アントレプレナーの育成を基本に、英語、サイエンス、IT分野など他県からも学生を引き付けられる特色ある教育カリキュラムの導入を目指す大学数	校	1	-	当初 2 変更後 3	2021年度まで、毎年度1校ずつ特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数を増加させていくことを目指し、目標値を設定
<b>13 日本一、子どもを産み育てやすい県</b>									
(1) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり	79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数(経年累計)	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数(経年累計) ※目標値の修正	いばらき出会いサポートセンター等県の結婚支援事業により成婚に至った夫婦の組数。値はセンターが設立された2006年度以降の累計値(年度)	組	2,230	-	2,450	「茨城県次世代育成プラン」(2020～2024)(R2.3月策定)に併せて設定
(6) 困難を抱える子どもへの支援	84	母子家庭等就業・自立支援センターの職業紹介による就職件数	母子・父子自立支援プログラム策定件数	母子・父子家庭の個々のニーズに応じた子育て・生活支援や就業支援等のメニューを組み合わせ合わせたプログラムの策定件数	件	31	-	96	2022年度までに全国平均の策定率(6.5%(0.65%)/年:策定件数÷児童扶養手当受給世帯数)への引き上げを目指し、目標値を設定
<b>17 世界に飛躍する茨城へ</b>									
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI	96	県の支援により成約した輸出商談件数	県の支援により成約した輸出商談件数 ※目標値の上方修正	県の支援により、中小企業において工業製品等の輸出商談が成約した件数(年度)	件	94	-	当初 50 変更後 100	直近の実績値(輸出商談成約件数が当初計画から1.9倍増)の状況を踏まえ、当初目標50件を倍増する目標値を設定

【表5】主要指標の状況

I. 新しい豊かさ	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)		実績(2020)		目標値
				2017	全国順位等	2019	全国順位等	2020	全国順位等	2021
<b>1 質の高い雇用の創出</b>										
(1) 成長分野等の企業の誘致	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計)	人	256 (2016)	—	728	—	1,016	—	1,024 (2018~21累計)
	2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計)	件	28 (2016)	—	89	—	126	—	112 (2018~21累計)
	3	県の支援により進出した外資系企業数(経年累計)	件	4	—	9	—	15	—	22
(2) 工業団地への企業立地の加速化	4	工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計)	件	50	4	132	3	196	1	200 (2018~21累計)
(3) 産業を支える人材の育成・確保	5	基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計)	人	530 (2018)	10	1,033	10	1,443	10	2,009
<b>2 新産業育成と中小企業等の成長</b>										
(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成	6	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)	社	4 (2018)	—	9	—	13	—	10
	7	先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数(経年累計)	件	15 (2018)	—	2019は準備期間として設定		26	—	45
(2) 共存共栄できる新しい産業集積づくり	8	産学官連携による新製品等開発件数(経年累計)	件	66	—	87	—	98	—	106
(3) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成	9	意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合	%	—	—	33	—	未公表	—	50
	10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数(経年累計)	件	—	—	3	—	10	—	18
<b>3 強い農林水産業</b>										
(1) 農業の成長産業化	11	販売金額1億円以上の農業経営体数	経営体	255 (2015)	7	—	—	311	5	350 (2020)
	12			—	—	—	—	—	—	
(2) 未来の農業のエンジンとなる担い手づくり	13	法人化している農業経営体率	%	5.1 (2015)	40	—	—	8.3	39	11.7 (2020)
(3) 林業の成長産業化	14	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	—	—	2019は準備期間として設定		未公表	—	2
(4) 水産業の成長産業化	15-1	沿岸漁業における法人の割合	%	3.2 (2018)	—	3.5	—	3.6	—	8.9
	15-2			漁労収入1億円以上の沿岸漁業経営体数	経営体	5 (2018)	—	6	—	5
(5) 県食材の国内外への販路拡大	16	県の支援により成約した農産物の市場外取引商談件数	件	137 (2018)	—	325	—	618	—	860
(6) 美しく元気な農山漁村の創生	17	野生鳥獣による農作物被害金額	百万円	580 (2016)	43	469 (2018)	42	458 (2019)	40	450以下
<b>4 多様な働き方</b>										
(1) 自分らしく働くワーク・ライフ・バランスの実現	18	県内中小企業における年次有給休暇取得率	%	53.97 (2016)	9	55.53 (2018)	9	60.63 (2019)	8	61.00以上
	19	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数	時間	12.8	45	11.4	38	10.8	未公表	9.3以下
(2) 女性が輝く環境づくり	20	政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合)	%	30.7	37 (2016)	32.5	25	36	未公表	35.4
(3) UIJターンで大好きな茨城へ	21	大学卒業者の県内企業等への就職率	%	30.7 (2016)	—	29.2 (2018)	—	30.3 (2019)	—	32.9
(4) 移住・二地域居住の推進~茨城へ新しい人の流れを~	22	地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計)	人	10,770	—	18,762 【18,473】	—	22,619	—	26,770
(5) 安心して就労できる環境づくり	23	雇用者の正規雇用率	%	61.5	28	— 次回公表は2022実績		— 次回公表は2022実績		62.7
<b>5 かけがえない自然環境の保全・再生</b>										
(1) 湖沼の水質浄化~泳げる霞ヶ浦を目指して~	24	霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値)	mg/L	7.4	西浦9位/14 常陸利根川11位/14 北浦12位/14 指定湖沼11湖沼(14水域)	6.9	—	7.3	—	7.0 (2020)
	25	霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数	件/年	1,219	—	1,210	—	1,339	—	1,531
(2) 身近な自然環境の保全	26	大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率	%	94.4	—	100	—	100	—	100%
(3) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策	27	本県の二酸化炭素排出量の削減	%	家庭: 3,812 業務: 4,421 運輸: 6,620 産業: 30,850 (2013, 千t-CO2)	—	家庭: ▲10.5 業務: ▲13.0 運輸: ▲7.0 産業: ▲12.0 (2017)	—	家庭: ▲21.1 業務: ▲30.7 運輸: ▲4.1 産業: ▲7.9 (2018)	—	家庭: ▲18.4 業務: ▲19.2 運輸: ▲13.2 産業: ▲4.24
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり	28	不法投棄発生件数	件	120 (2019)	—	120	—	197	—	80以下
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現	29	電気自動車等充電インフラの整備数(経年累計)	基	1,041 (2019)	—	1,041	—	未公表	—	1,054

※1 実績数値は、2021年6月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

※3 2020年度の実績値は、速報値のため変更になる可能性があります。

II. 新しい安心安全	No	指標名	単位	現状値		実績(2019)		実績(2020)		目標値 2021
				2017	全国順位等	2019	全国順位等	2020	全国順位等	
<b>6 県民の命を守る地域医療・福祉</b>										
(1)	30	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	—	—	—	—	2.2	—	7.5 (2022)
(2)	31	特定看護師数	人	35	11 (10万人あたり)	63 (2018)	7 (10万人あたり)	96 (2019)	6 (10万人あたり)	140
	32	介護職員数	人	34,959 (2016)	—	38,533 (2018)	—	未公表	—	43,122
(3)	33	医療提供体制・地域保健の充実	分	42.7 (2016)	40	43.2 (2018)	41	43.3 (2019)	42	全国平均以下
(4)	34	がん対策	%	44.9 (2016)	22	46.4 (2019)	30	未公表		50.0
(5)	35	精神保健対策・自殺対策	人	17.1 (2016)	22	17.0 (2018)	13	16.7 (2019)	18	16.2以下 (2020)
<b>7 健康長寿日本一</b>										
(1)	36	在宅医療・介護の支援	箇所	360 (2015)	36 (10万人あたり)	401	—	421	—	414 (2020)
(2)	37	地域包括ケアシステムの構築	%	74.6 (2018)	—	90.0	—	94.4	—	100
(3)	38	認知症対策の強化	人	201,567	37 (総人口に占める割合)	267,261	33	276,004	33	284,300 (2020)
(4)	39	高齢者の能力活用と就労支援	%	38.2	30	— 次回公表は2022実績		— 次回公表は2022実績		38.5
(5)	40	人生百年時代を見据えた健康づくり	人	8,312	—	9,236	—	9,398	—	11,000 (2020)
	41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性:25.3 女性:9.7 (2015)	男性:41 女性:43	男性:26.0 女性:10.4 (2018)	男性:44 女性:44	男性:25.6 女性:10.5 (2019)	男性:43 女性:44	男性:22.8 女性:8.7
<b>8 障害のある人も暮らしやすい社会</b>										
(1)	42	特別支援教育等の充実	%	63.2 (2020)	—	—	—	63.2	—	81.1
(2)	43	障害者の自立と社会参加の促進	人	3,905	—	3,758	—	3,777	—	3,177 (2020)
(3)	44	障害者の就労機会の拡大	円	13,198	45 (2016)	14,338	44	未公表		15,480
	45	民間企業における障害者雇用率	%	1.97	32	2.14	31	2.19	31	2.30
<b>9 安心して暮らせる社会</b>										
(1)	46	地域公共交通の維持確保	万人	308 【282】 (2016)	—	312 【292】	—	237	—	323
(2)	47	治安対策の強化	%	42.7	—	40.7	—	44.3	—	50.0以上
(3)	48	交通安全対策の推進	人	143	38	107	39	84	37	120以下
(4)	49	消費生活と食の安全確保	%	39.9	—	50.8	—	55.4	—	50.0以上
	50	消費生活相談窓口対応日数が週4日以上 の市町村数	市町村	39 (2019)	—	39	—	39	—	44.0
(5)	51	地域の力を高めるコミュニティづくり	件	838	46 (10万人あたり)	845	45	861	44	983
(6)	52	犬猫殺処分ゼロの実現	頭	545	—	0	—	0	—	0
(7)	53	水道普及率	%	94.4 (2016)	36	94.7 (2018)	36	94.9 (2019)	36	100.0
	54	汚水処理人口普及率	%	84.0	31	85.6	31	未公表		87.4
<b>10 災害に強い県土</b>										
(1)	55	防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	%	80.8	34	83.4	34	83.0	36	90.0
	56	消防団員数の充足率	%	91.6	31	88.5	42	86.7	39	94.0
(2)	57	災害に備えた体制づくり	%	56.8	27	100	1	100	1	100.0
(3)	58	危機に強いライフラインの整備	%	53.8	—	73.1	—	100	—	100.0
(4)	59	治山治水対策の強化	%	57.6	—	57.9	—	58.1	—	58.2
	60	土砂災害防止施設の整備率	%	24.1	—	24.4	—	24.6	—	24.5
(5)	61	原子力安全対策の徹底	件	1 (2018)	—	1	—	1	—	0
(6)	62	危機管理体制の充実	%	61.4	—	77.3	—	81.8	—	100.0

※1 実績数値は、2021年6月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

※3 2020年度の実績値は、速報値のため変更になる可能性があります。



III. 新しい人財育成	No	指標名	単位	現状値		2019		2020		目標値
				2017	全国順位等	実績値	全国順位等	実績値	全国順位等	2021
<b>11 次世代を担う「人財」</b>										
(1) 「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進	63	国語の授業の理解度（中学生）	%	78.4	9	80.6	9	未実施		81.4
	64	全国高等学校総合体育大会等での優勝数	種目	3 (2018)	24	5 【4】	24 【23】	3	25	6
(2) 新しい時代に求められる能力の育成	65	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	組	2	—	1	—	1	—	5
(3) キャリア教育による将来の目標づくり	66	地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合	%	5.5 (2018)	—	— 2019公表なし		20	—	50
	67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	35.4	—	100	—	100
(4) 青少年の健全育成と若者の自立を支える社会づくり	68	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合	%	69.0 (2018)	—	66.1	—	未公表	—	78.3
(5) 就学前教育・家庭教育の推進	69	訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数	市町村	12 (2018)	—	17	—	17	—	21
(6) 放課後の子どもの活動支援	70	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,074	—	1,099
(7) 地域力を高める人財育成	71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	3,777	—	3,563	—	4,564	—	5,280
	72	IBARAKIドリーム・パス事業への応募企画数	件	104 (2020)	—	—	—	104	—	130
<b>12 魅力ある教育環境</b>										
(1) ICT教育先進県の実現	73-1	ICTを活用できる生徒の割合（県立高校）	%	38.6 (2018)	—	76.1	—	75.3	—	100.0
	73-2	情報処理技術者試験の高校生合格者数（期間累計）	人	16 (2018)	—	19	—	8	—	43
(2) 正しいメディアとのつきあい方	74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	48.9 (2016)	—	56.8	—	未公表	—	90.0
	75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率	%	97.8	—	100	—	100	—	100.0
(3) 時代の変化に対応した学校づくり	76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）	%	77.0	17	79.5	15	未実施		82.2
(4) 新たなニーズに対応した大学等の誘致や官学連携の推進	77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	校	—	—	1	—	2	—	3
<b>13 日本一、子どもを産み育てやすい県</b>										
(1) 結婚・出産の希望がかなう社会づくり	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	82.1	28 (2016)	87.6	21	未公表		84
	79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計）	組	1,930	—	2,230	—	2,352	—	2,450
(2) 安心して子どもを育てられる社会づくり	80	放課後児童クラブの実施箇所数（再掲）	箇所	961 (2018)	—	1,020	—	1,074	—	1,099
(3) 待機児童ゼロへの挑戦	81	保育所等の待機児童数	人	386	36	193	34	未公表		0
(4) 児童虐待対策の推進	82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	12	—	24	—	34	—	44
(5) 誰もが教育を受けることができる社会づくり	83	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合（再掲）	%	69.0 (2018)	—	66.1	—	未公表	—	78.3
(6) 困難を抱える子どもへの支援	84	母子・父子自立支援プログラム策定件数	件	31 (2019)	—	31	—	46	—	96
<b>14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城</b>										
(1) 生涯にわたる学びのすすめ	85	県内公立図書館の入館者数	千人	8,477 (2018)	—	8,061 【7,389】	—	未公表	—	8,612
(2) 心豊かにする文化・芸術	86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	1,051 【963】 (2018)	—	1,007 【971】	—	485	—	1,067
(3) 「する・見る・支える」スポーツの支援	87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	34.7 (2016)	—	—	—	50.5	—	60.7
(4) 遊びある楽しい生活スタイル	88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.93 (2019)	37	10.00
<b>15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会</b>										
(1) 誰もが能力を発揮できる社会	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計）	人	520	—	843	—	914	—	800
(2) ダイバーシティ社会へ向けて	90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	90.6 (2016)	—	—	—	80.3	—	95.0
(3) 一人ひとりが尊重される社会づくり										
(4) いじめを生まない社会づくり	91	いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数	件	958 (2018)	—	1,324	—	未公表	—	689

※1 実績数値は、2021年6月までに公表された数値を掲示  
※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施（【】がコロナ影響控除数値）  
※3 2020年度の実績値は、速報値のため変更になる可能性があります。

IV. 新しい夢・希望	No	指標名	単位	現状値		2019		2020		目標値	
				2017	全国順位等	実績値	全国順位等	実績値	全国順位等	2021	
<b>16 魅力度No.1プロジェクト</b>											
(1)	魅力発信国内戦略	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	71	—	123	—	101	—	140
(2)	魅力発信グローバル戦略	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	230,690	35	217,410	38	52,520	37	389,900
(3)	積極的なトップセールス	94	県産品の県内認知度	%	—	—	41.2	—	43.3	—	50
(4)	県民総「茨城大好き！」計画	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	83.3	—	77.5	—	72.1	—	90.0
<b>17 世界に飛躍する茨城へ</b>											
(1)	世界に広がるメイドインIBARAKI	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	38	—	94	—	122	—	100
(2)	活発なグローバル交流	97	県内における国際会議の開催件数	件/年	50	12	50 (2018)	12	60 (2019)	12	120 (2020)
(3)	茨城シリコンバレー構想	98	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)(再掲)	社	4 (2018)	—	9	—	13	—	10
<b>18 ビジット茨城 ～新観光創生～</b>											
(1)	旺盛なインバウンドの取込み	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	3,442 【2,868】 (2018)	—	3,360 【3,259】	—	0	—	5,000
		100	茨城空港の旅客数	千人	681 【567】	39位/ 85空港	776 【698】	—	209	—	944
(2)	新たな観光資源の発掘	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	6,181 (2016)	17位/ 44都道府県	6,443	9位/ 31都道府県	3,783	2位/ 6都道府県	8,450
(3)	新茨城リゾート構想	102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	534 (2016)	22位/ 44都道府県	491	19位/ 31都道府県	412	2位/ 6都道府県	876
<b>19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功</b>											
(1)	競技力の向上と障害者スポーツの振興	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	23	23	1	1	—	—	1 (2019)
(2)	県民総参加の機運醸成	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	6,723	—	—	—	延べ 5,200 (2019)
(3)	成功に導く環境整備	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	—	—	—	—	2,200
(4)	大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	414	—	—	—	100 (2019)
(5)	スポーツを活用した地域振興	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	9	6	16	4	17	6	15
<b>20 活力を生むインフラと住み続けたくなるまち</b>											
(1)	未来の交通ネットワークの整備	108	県管理道路の改良率	%	75.7 (2016)	20	76.8 (2018)	22	77.1	22	76.3
(2)	空と海のゲートウェイ機能の強化	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千トン	94,350	—	95,770	—	84,230	—	103,200
		110	茨城空港の旅客数(再掲)	千人	681 【567】	39位/ 85空港	776 【698】	—	209	—	944
(3)	人にやさしいまちづくり	111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	2	—	12	—	24	—	24
		112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	63.1	—	67.7	—	70.5	—	74.3
(4)	魅力あるまちづくり	113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m <sup>2</sup> /人	9.56 (2016)	36	9.87 (2018)	36	9.93 (2019)	37	10.00


※1 実績数値は、2021年6月までに公表された数値を掲示

※2 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指標については、コロナ影響分を控除して評価を実施(【】がコロナ影響控除数値)

※3 2020年度の実績数値は、速報値のため変更になる可能性があります。

＜資料1-1 P8 I 現状 4(2)チャレンジ指標について＞

【表6】チャレンジ指標の状況

4つのチャレンジ	No	指標名	単位	実績 (2019)		実績 (2020)	
				2019	全国順位等	2020	全国順位等
 I 新しい豊かさ	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	7 (2017) ※平成29年度県民経済計算公表時		6(暫定) (2018)	
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,467 (2018)	—	4,499 (2019)	—
	③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	330 (2018)	11	298 (2019)	15
 II 新しい安心安全	④	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	—	—	2.2	—
	⑤	健康寿命					
		男性	年	—	—	未公表	—
	女性	年	—	—	未公表	—	
 III 新しい人財育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.6	9	未実施	
	⑦	生徒の英語力					
		公立中学 (英検3級相当)	%	48.3	7	未実施	
	県立高校 (英検準2級相当)	%	44.6	18	未実施		
	⑧	県民が希望する子どもの数と実際の 子どもの数の差	人	0.46	—	0.42	—
 IV 新しい夢・希望	⑨	企業経営者が考える成長期待度	%	70.1	—	74.2	—
	⑩	観光消費額	億円	2,487	17位/31都道府県	2,007	1位/6都道府県
	⑪	農林水産物及び工業製品等の輸出額	億円	95.6	—	未公表	—

※ 実績値は、2021年6月までに公表された数値を掲示  
 ※ 2020年度の実績値は、速報値のため変更になる可能性があります。